

「農業振興担当実務者と農業委員との合同会議」

(農業技術者協議会: 峰山地域部会 平成30年度10月開催)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

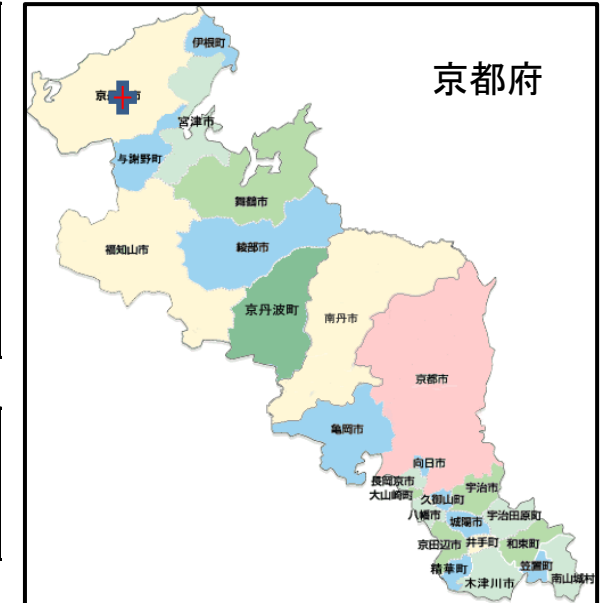
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年10月9日 午前10時30分～午前11時30分
- 場 所:
- 出席者: 農業委員1人
委員以外6人(府・市・JA実務担当)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 地理的条件: 中山間地域で大きくは竹野川流域と鱒留川流域に別れた水田地帯で商業エリアと里山エリアに区分される。
- 農用地の特徴: 稲作主流の水田地帯、里山開発の畑地帯もあり
- 農業経営の状況: 水稲主流農家は小規模ながら機械装備があり自己完結型がほとんど。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 谷口委員より、峰山地区定例会の活動概要報告と利用状況調査の結果報告
- 農地の耕作放棄や荒廃が進む一方で市農業予算が減少傾向にある懸念の提示と意見交換
- 峰山町域の水田活用を農機共同利用など法人化の動きへの期待感の紹介
- 五箇地区内で将来の農地を守る施設整備に向けた動きの紹介
- 菅地区の農事役員によるグループ営農についての情報提供

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援